

第23回地本定期委員会開催！



2月27日、鹿児島地本は第23回定期委員会を鹿児島市「武町公民館」で開催しました。

議長に宮崎支部の黒木委員が選出され、増森委員長のあいさつは、自民党の派閥による政治資金裏金問題について、今春闘の課題、嘱託再雇用社員の労働条件改善に向けた訴訟問題、「人にやさしい鉄道づくり」による肥薩線復興問題、自動運転導入問題、広木駅の人身事故に対する安全問題、4月の鹿児島市議選への取り組み等の挨拶がされました。来賓の本部岩谷書記長は臨大の経緯、ユニオン共済の更新、嘱託の裁判状況等の挨拶を受け議事を進めていきました。

委員会では、2022年度経過報告・活動方針（案）、規約改正（案）暫定予算（案）、特別決議（案）が提起され、質疑に入りました。

6名の委員からは、人事・賃金制度による「エリア限定」問題、おれんじ鉄道の存続問題、職場状況報告、年休取得問題、組織状況問題等の発言を受けて、組織・業務部・本部岩谷書記長の答弁の後、渡辺書記長の総括答弁を受け、各議案は満場一致で承認されました。最後に増森委員長の団結がんばろうで委員会は閉会しました。その後、地本闘争委員会設置しました。

春闘勝利！ 賃上げ満額回答獲得！ 人事賃金制度改悪の撤廃！